

令和２年度 奈良市精神保健福祉連絡協議会会議録		
開催日時	令和３年３月８日（月）から令和３年３月１９日（金）まで ※書面開催	
開催場所		
出席者	委員	宮野委員、吉田委員、大田委員、森岡委員、村田委員、塩入委員、堂脇委員、神澤委員、佐藤委員（健康医療部 保健所長）、金森委員（福祉部 障がい福祉課長）【計 10 人】
	事務局	
開催形態	公開	
議題	令和３年度の主な活動（案）について	
決定事項	別紙、令和３年度の主な活動についてのとおりに決定する	
報告及び議題に対する主な意見等		
1 令和２年度 奈良市の現状活動報告について 別紙（報告事項 資料）のとおり事務局から報告を行った。		
2 令和３年度の主な活動（案）について 令和３年度の主な活動（案）について、各委員に書面により承認を求めた。その結果は下記のとおりである。 <u>意見なし ５人</u> <u>意見あり ５人</u>		
【委員からの意見要旨】		
① 自殺対策について、「施策３市民への啓発と周知」をより重点的に進める具体化が大切だと考える。		
② 自殺対策について、多くの機関や職種がしている取り組みと連携しながら進めていくことができるのではないかと考える。		
③ 自殺対策について、スライド 22 にある「児童、生徒が自傷行為という方法をとらずに、SOS を出せる教育」「児童、生徒の自傷行為や自殺未遂等の対応について、教職員への研修」について具体的な計画。		
④ 「令和３年度の主な活動（案）」の「精神保健福祉活動」に「５精神保健福祉相談について」を追加する。 （追加）5 <u>精神保健福祉相談について</u> 最近 2 年間連続して相談件数が減少し、また年代別では 19～39 歳の発症早期の年代の相談割合が少ない。 問題の家庭内内向化や相談窓口等が分からない等が懸念される。早期発見・早期対応に向けた相談支援体制の強化及び市民だよりなどによる相談窓口等の情報周知に努めていく。		
⑤ 「令和３年度の主な活動（案）」の「めざす姿」を下記に修正する。 （修正前）「精神障害者が適切な時期に適切な支援を受けることで、医療中断することなく、地域で安心して生活できることを目指す。」 （修正後）「 <u>精神疾患の啓発と早期発見を推進し、精神障害者が適切な時期に適切な相談・支援を</u> うけることで、 <u>医療と福祉の提供が</u> 中断することなく、地域で安心して生活できることを目指す。」		

- ⑥ 事務局作成の「令和３年度の主な活動について」に同意します。特に自殺対策では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける層に届く周知を進めてください。また、精神保健福祉に関する啓発についても推進してください。

【本市の考え方】

- ① コロナ禍での生活困窮者の増大や社会的な弱者にいる人が自殺に追い詰められることは、これからも続くことが予測され、相談窓口を有する他課とも連携し、啓発及び相談窓口の周知を推進していく。
- ② 全国的にコロナ禍における自殺者で「女性・子ども」が増加しており、奈良市においても「女性・子ども」の対策が必要であると認識している。今後も他課と継続して情報を共有し、相談した人を取りこぼさないような支援体制を検討していく。
- ③ 令和２年に全国的に急増した「子ども・若者」に対応している関係課へのヒアリングから課題から、奈良市として取り組みを推進していく必要があると認識している。作業部会などで、令和３年度に教育部門が計画している事業を把握し、児童生徒の SOS の出し方教育と自傷行為や自殺未遂等の教職員への研修などを推進していけるように支援していく。
- ④ 奈良市の精神障害者が発症早期から、受診につながるように、相談窓口を周知し、継続した支援が受けられるようにすることが課題と認識している。疾病理解や相談窓口の周知が出来るよう、市民だよりやホームページなどを使用して啓発していく。
- ⑤ ご意見のとおり訂正し、福祉の提供が途切れないようにするために、障害福祉計画にも組み込めるよう調整していく。